

## 慶應義塾大学 SFC 池田靖史研究室 ゼミ合宿

2010年9月9日-11日 岐阜・愛知

環境情報学部 4年 水上梨々子 #70675483 (t06579rm@sfc.keio.ac.jp)

環境情報学部 4年 清水将矢 #70743731 (t07373ms@sfc.keio.ac.jp)

環境情報学部 3年 松橋 拓也 #0848609 (t08860tm@sfc.keio.ac.jp)

### 1. はじめに

池田靖史研究室は、政策・メディア研究科 池田靖史教授の下、建築設計を主として学ぶ研究室である。

2010年9月9日から11日にかけて岐阜・愛知で行われた「池田靖史研究室 ゼミ合宿」の成果報告を行う。

### 2. 目的

研究室所属学生で選定した合宿地である、岐阜・愛知を拠点として、世界遺産から有名建築家が設計した近代建築まで多種多様な建築見学を行う。また宿泊先では、政策・メディア研究科2年の学生による修士論文中間発表、学部4年の学生による春学期研究成果報告、秋学期 ORF に向けての方針計画を行う。

以上、ゼミ合宿の目的とする。

### 3. 内容

#### 3.1 概要

日程：2010年9月9日(木)～11日(土)

行き先：白川郷/ 瞑想の森(伊東豊雄)/ 長良川国際会館(安藤忠雄)/ ハイタウン北方(妹島和世、他)/

養老天命反転地(荒川修作、他)/ セラミックパーク(磯崎新)/ 藤村記念堂(谷口吉郎)/

豊田市美術館(谷口吉生)/ 豊田鞍が池記念会館(楨文彦)/ 資生堂アートギャラリー(谷口吉生)

宿泊先：岐阜長良川観光ホテル石金/ 国民宿舎恵那山荘



#### 3.2 スケジュール

9/9(木)	行き先	9/10(金)	行き先	9/11(土)	行き先
5:00		5:00		5:00	遊歩散策
6:00		6:00	岐阜城 散策	6:00	恵那山荘 7:45着
7:00		7:00		7:00	藤村記念堂 8:30着
8:00	SFC集合 8:00発	8:00	旅館 石金 8:00発	8:00	藤村記念堂 9:10着
9:00			瞑想の森 8:30着	9:00	
10:00		9:00	瞑想の森 9:10発	10:00	
11:00			長良川国際会館 9:35着	11:00	豊田市美術館 11:00着
12:00		10:00	長良川国際会館 10:15発	12:00	豊田市美術館 12:30着
13:00			ハイタウン北方 10:50着	13:00	昼食
14:00	白川郷 14:00着	11:00	ハイタウン北方 11:10発	14:00	豊田鞍が池記念会館 14:00着
15:00			昼食	15:00	豊田鞍が池記念会館 15:00着
16:00	白川郷 16:00発	12:00		16:00	資生堂アートギャラリー 16:00着
17:00		13:00	養老天命反転地 13:00着	17:00	資生堂アートギャラリー 17:00着
18:00	旅館 石金 18:00着	14:00	養老天命反転地 14:30発	18:00	
19:00	夕食・ゼミ	15:00	セラミックパーク 15:50着	19:00	帰宿
20:00		16:00		20:00	
21:00		17:00	セラミックパーク 17:50発	21:00	
22:00		18:00		22:00	
23:00		19:00		23:00	
24:00		20:00	恵那山荘 19:00着	24:00	
			夕食・ゼミ		

### 3.3 ゼミ

宿泊先では、まず政策・メディア研究科2年の学生3人による修士論文中間発表を行った。プロジェクターを使い、各々の発表画面を部屋の壁に映し出しながら、一人15分程度の発表と池田教授によるエスキスが行われた。また教授からだけでなく、学生同士による意見交換も行った。後輩にとっては、先輩の研究内容を知ることのできる大変有意義な時間となった。

次に、学部4年の学生による春学期研究成果報告を行った。春学期に提出した学外の建築アイデアコンペ案をプロジェクターで映しながら説明し、教授や先輩との意見交換を行った。

最後に、秋学期 ORF に向けての方針計画を行った。池田研究室で行う ORF 会場内休憩スペースの設計や空間構成の為にパターションシステムについて議論を交わした。



## 4. 成果と今後

今回のゼミ合宿では、世界遺産から近代建築まで、設計者だけでなく建築様式や建築年数も全く異なる多種多様な建築を見て回ることが出来た。池田教授の下、普段とは違った視点で見る建築は新鮮で有益な時間となった。実際に建築を見て回ることが、学生の研究意欲を向上させたことは言うまでもない。

また2泊3日の共同生活によって、研究室所属学生同士がお互いの研究内容や興味分野について知ることができたのは、大変有意義であった。今後 ORF などの研究プロジェクトを行うに際し、学生同士が一致団結し協力し合う為にも、今回のゼミ合宿は、お互いを知り絆を深める大変貴重な時間となった。

## 5. 最後に

本プロジェクトが「シンポジウム・研究ネットワークミーティング」基金の支援の下、無事に行うことができた事に感謝したい。この機会を活かし、池田研究室の更なる躍進に向け学生共々努力していきたい。

